

会 議 録 (要点筆記)

会 議 名	令和5年度第2回米原市地域公共交通活性化協議会
開 催 日 時	令和5年8月10日(木) 10時00分～12時05分
開 催 場 所	米原市役所 本庁舎4階 会議室4A
出席者および 欠席者	出席者：三星会長、西村副会長、田中委員、福島委員、陌間委員、 村田委員、北村(き)委員、村山委員、上津委員、川口委員、 北村(真)委員、辰野委員、野村委員、松尾委員、野口委員、日向委員 欠席者：糸委員、土屋委員 事務局：米原市自治環境課 北川課長、磯部参事、鹿取主査 事務局補佐：中央復建コンサルタンツ株式会社 北野、澤本
議 題	議案第1号：路線バス「近江長岡線」の利用促進について 議案第2号：路線バス「米原多和田線」の運行時刻の見直しについて 議案第3号：乗り合いタクシー停留所の新設について
結 論	全ての議案について、全員賛成により、承認された。
報 告	報告事項1：米原市地域公共交通計画策定に向けた調査について 報告事項2：地域の輸送資源活用の可能性を探る 実証実験第2弾
審 議 経 過	<p><b>1 あいさつ</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・(三星会長あいさつ)</li> <li>・米原市の地域公共交通会議の取組は滋賀県内で早期に開始されたものであり、他市町村からも注目されている。</li> <li>・また、地域公共交通の衰退が進んでいる一方で、車を運転できない高齢者や学生がおり、近未来の地域を維持するために、公共交通は確実に維持していく必要がある。</li> <li>・本日も学生へのサービスに関する議論を行う予定であり注目している。これまでの公共交通は顕在化した移動ニーズに対応したサービスを提供してきたが、今後の公共交通の維持には地域の潜在的なニーズを掘り起こし、まちづくりと一体となった取組を実施していくことが重要になる。</li> <li>・また、高齢者の自動車事故の増加も痛ましい問題であり、免許返納を推進するためにも、代替交通となる地域公共交通を充実させていければと思う。</li> </ul> <p><b>2 委員名簿の確認</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・(事務局から説明)</li> <li>・前回の協議会の議事を受け、米原市商工会の日向様に新たに参画いただいた。</li> <li>・公募委員の募集も行ったが応募がなかったため、随時募集を行っている。 なでしこネットより1名内諾をいただいております、次回の協議会から参画いただけるよう調整している。</li> </ul>

- ・本日は、私鉄滋賀県協議会の糸委員、近江鉄道株式会社の土屋委員から欠席の連絡と委任状の提出をいただいている。
- ・また、本会議は公開で行う。

### 3 議事

#### (1) 議案第1号 路線バス「近江長岡線」の利用促進について

- ・(事務局から別添資料に基づき説明)

##### 【質疑・意見等】

- ・近江長岡線は、三友エレクトリックの工場を經由していた路線と同一か。  
→そのとおりである。
- ・p.2の路線バスのルートは間違っているのではないか。  
→徒歩で移動した場合のルートを示しており、バス路線ではない。
- ・通学支援の取組は賛成だが、今後は周知が課題になると考える。伊吹高校の生徒数増加につなげるための宣伝方法は考えているのか。  
→高校が実施する中学校の説明会や体験入学等の中で周知を図っていきたい。
- ・チラシの作成や、学校・市のホームページで周知ができると考えられる。
- ・関係者への周知はもとより、学生数を増やすには県下全域へのチラシ配布などを検討してはどうか。また、当事者の声は重要であるため、通学の議論をする際には学校関係者の参画も検討いただきたい。
- ・近江長岡線の補助を継続して受けるには、一定の要件を満たし続ける必要があり、通学支援は重要であると考えている。一方で、現状の通学方法を見ると保護者による送迎が多いことが気になる。送迎ではなく公共交通に乗っていただくための広報も公共交通の維持には重要と考えられる。
- ・子どもの送迎は保護者の負担が大きく、保護者向けの周知も必要なのではないか。送迎を行っている保護者の属性も調査できると良い。
- 伊吹高校の校門前には狭隘な道路があり、地域からも苦情が出ている現状がある。まずは、在校生への周知を進める予定であり、在校生の後輩や保護者のネットワークを通じて、更なる情報発信につなげていきたい。
- ・伊吹高校の生徒減少のうち何割が通学不安を要因とした減少なのか。
- 正確な数値は把握できていない。因果関係の分析の一つとして駅からの距離と生徒の減少の関連を示したところである。また、関係者へのヒアリングを通して関係性はあると考えている。
- ・要因によって、施策の優先順位が変わってくると考えられる。学区の変更といった制度上の変更は生徒減少の要因になっていないのか。  
→平成18年以前には区域割があったが、以降は滋賀県内で全県一区に変更され

	<p>ている。彦根方面へ通学する生徒が増えている一方で、彦根方面から市内に通学している学生もあり、通学支援を武器に生徒の確保を進めていきたい。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・資料を見ると交通だけが生徒減少の要因であるように読み取れてしまうので、交通以外の側面も把握すべきではないか。</li> <li>・交通アクセシビリティと地域の人口減少を軸に分析していただきたい。</li> </ul> <p>また、高校は大学よりも地域密着度が高く、交通便利性の影響が大きく出ることから、先生方へのヒアリングも行うと有意義な情報が得られるのではないか。県の教育委員会とも連携しているのか。</p> <p>→県の教育委員会とは意見交換を行っている。教育委員会としては、各高校の魅力強化を考えており、伊吹高校は地域振興というテーマで進めている。</p> <p>米原市は交通環境の側面から、教育委員会は学校の魅力の側面から取り組んでおり今後も連携していきたい。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・学校の魅力や、周辺の環境だけでなく、子どもの移動の権利という視点も重要になってくる。今後、大阪府で取り組まれている高等教育の無償化の動きも注視していく必要がある。</li> <li>・買い物客減少に対応するため、以前、周辺自治体と議論を行い、近隣市の高校でも生徒減少には強い危機感を持っていると聞いた。</li> <li>・子どもの減少は防ぎようがない部分もあるが、周辺の高校も危機感を持っている中で、伊吹高校の魅力を高めていくことが重要となる。市からの通学補助が打ち切られたとも聞いている。</li> </ul> <p>→学生の通学補助は把握していない。確認する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・市民への説明時は市民がコスト感覚を失わないよう無料という説明ではなく、自治体が負担するとの表現を用いてほしい。また、まいちゃん号との組み合わせは良いと考えるが、予約制で運用するのか、他の市民との乗り合いができるのかについて確認したい。</li> <li>・安易に無料と言うべきではないということはよく言われている。</li> </ul> <p>→まいちゃん号は、通常と同様に事前予約制で運用する。学生には説明会を通じて、利用方法を周知していきたい。予約サイトを通じて、スマホで予約ができるので、それ程負担にはならないと考えている。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・学校にスマホを持ち込むことは可能なのか。</li> </ul> <p>→スマホを持ち込んではいけないというルールは聞いていない。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・スマホでの予約は何時間前まで予約できるのか。</li> </ul> <p>→通常の利用と同様に1時間前まで予約が可能であり、複数予約も可能となっている。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・滋賀県としては路線バスの合理化、利用促進のモデルケースとして県下の他地域に広げていきたいと考えている。</li> </ul>
--	---

- 滋賀県からの支援に感謝する。
- ・路線バスの利用促進と学生の通学支援の二つの目的を組み合わせた工夫された施策であると感じている。
  - ・市の事業を応援する。
  - ・生徒の居住地は長浜市が多く、通学方法を見ると自転車が多い。米原市だけではなく、長浜市方面からの通学時間帯のバス本数を増加することが公共交通の利用促進には効果的かと思うがどうか。
- 近江長岡線の利用促進にあたっては、長浜市とも意見交換を行っている。長浜市としては、路線バス沿線に複数の高校があるため、具体的な施策は見送られたが、今後も長浜市との協力体制を築けるよう進めていく。
- ・学生と成人の委員の間には認識に乖離があると感じる。高校受験を控える子供の意見を聞くと、周辺環境などの交通利便性以外の側面を気にしている。交通利便性の良し悪しだけでは進学時の選択は変わらないのではないかと。
  - ・高校の魅力は交通利便性だけではないことをご指摘のとおりである。高校の存続を考えるには、交通だけでなくまちづくりと連携して総合的な政策として考えていく必要がある。ただし、交通利便性を向上させることはマイナスにはならないと考える。
  - ・以前の議会で、今回の通学支援が否決された。議会では経費面が問題になり、他市からの生徒にも支援を行うことが議論となった。その中で、今後の高校は付加価値を付けることが維持に必要と考えており、個人として実証実験で通るのではないかと考えている。
  - ・社会福祉協議会では伊吹高校の生徒の福祉ボランティアを受け入れている。この中で課題となるのが施設への生徒の移動である。学校外における生徒の移動支援ができないか議論ができれば良い。
  - ・交通費の制約によって意欲のある学生の活動が妨げられないように、校外学習における学生の移動支援について学校と協議してはいかがか。
- 実証実験の検証時には、学生や学校担当者に詳細な意見を調査したいと考えている。判明したニーズには市として対応可能か整理していきたい。
- ・伊吹高校創設時には、通学に便利であることが魅力であった。当時とは居住地の構成がより広域になっており、今後も広域な学生の通学をしてもらえるよう近隣市の中学校にもPRをしてはどうか。また、米原駅での乗り継ぎ環境は改善されていると感じるが、米原駅と長浜駅間の鉄道の本数が減少して困ったという声も聞くので米原市と長浜市が連携した交通体系を作っていただきたい。
- 高校の魅力を高め、生徒数を維持するためサポートを行っていく。地域振興の視点にも踏み込んで高校と議論をしていきたい。

- ・ 人がある場所に行く理由には、地域の魅力と交通利便性のそれぞれが高い必要がある。良い内容の議論が行えたので議会とも連携していただきたい。

**【審議結果】**

- ・ (挙手全員)
- ・ 賛成全員のため、議案第 1 号は承認することに決した。

**(2) 議案第 2 号 路線バス「米原多和田線」の運行時刻の見直しについて**

- ・ (事務局から別添資料に基づき説明)

**【審議結果】**

- ・ (挙手全員)
- ・ 賛成全員のため、議案第 2 号は承認することに決した。

**(3) 議案第 3 号 乗り合いタクシー停留所の新設について**

- ・ (事務局から別添資料に基づき説明)

**【質疑・意見等】**

- ・ 警察としては問題ないが、付近の住民の理解は得られているのか。  
→ 決議後に地元の説明を行っていく。

**【審議結果】**

- ・ 地域住民の理解を得ることを条件とした上で、議案第 3 号について賛成の方は挙手をお願いしたい。
- ・ (挙手全員)
- ・ 賛成全員のため、議案第 3 号は承認することに決した。

**4 報告**

**(1) 米原市地域公共交通計画策定に向けた調査について**

- ・ (別添資料に基づき事務局より説明)

**【質疑・意見等】**

- ・ 補助金の申請期限が 6 月末になるが、5 月に作成するスケジュールではタイトではないか。  
→ 実態調査や課題整理に時間をかけるためにこのスケジュールになった。  
パブリックコメントの実施期間も並行して申請手続きを進めていく。

- ・手続きに遺漏の無いように進めていただきたい。市民アンケートについては他市には無い興味深い内容となっているので丁寧に分析していただきたい。

**(2) 地域の輸送資源活用の可能性を探る 実証実験第2弾**

- ・(別添資料に基づき事務局より説明)
- ・(滋賀県土木交通部交通戦略課 福島委員から補足説明)
- ・公共交通以外の輸送資源を活用する取組で2年目になる。グランエメントの協力をいただき、児童クラブへの支援を行った。当初は全日運行の予定であったが児童クラブの安全管理の都合により3日間の実施となっている。児童や児童クラブにも好評であったので今後も続けていければと考えている。

**4. その他情報提供**

- ・(滋賀県土木交通部交通戦略課 福島委員から別添資料に基づき情報提供)
- ・滋賀県地域交通ビジョン策定に当たり、未来アイデア会議を実施し、県民の理解と共感を得たいと考えている。
- ・商業施設や各市役所で意見交換の場を設けているので、お時間があれば参加いただきたい。Webからも意見を表明できる。
- ・また、10月28日に県民フォーラムを開催する。県民同士の意見交換の場を設けているので、ぜひ参加いただきたい。



以上

<p>会議の公開・ 非公開の別</p>	<p>■公開 傍聴者： <u>1人</u>  <input type="checkbox"/>一部公開  <input type="checkbox"/>非公開          一部公開または非公開とした理由          ( )</p>
<p>会議録の開</p>	<p>■開示</p>

